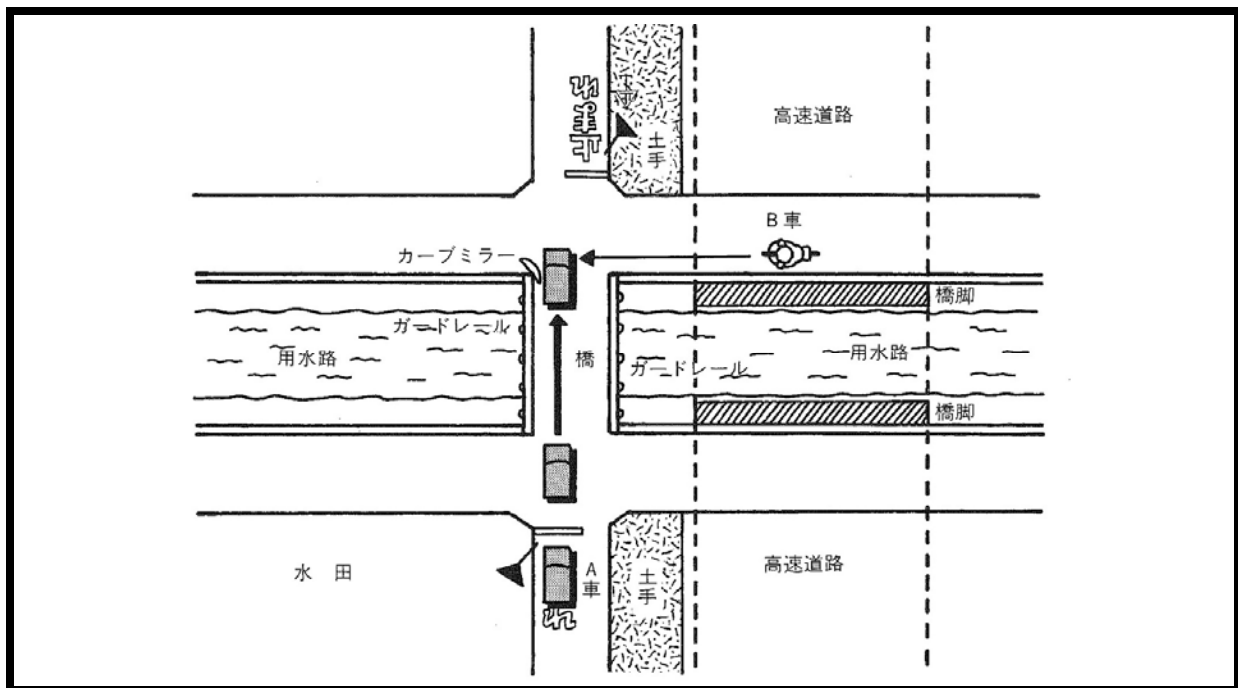


■事故の概況



事故類型：出会い頭

当事者A：普通乗用車 60歳代 男性

当事者B：原付自転車 50歳代 女性

■ 事故の概要

Aは高速道路に平行する道路を走行中、用水路の両脇にある二つの道路を横切る際、最初の交差点で一旦停止した後、橋を渡った二つ目の交差点では一時停止をせず、右から走行してきたB車を見落としたまま直進しました。

一方、Bは一時停止規則の道路を走行するA車が停止するものと思い、そのまま直進したため衝突してしまいました。

Aの進行する橋の欄干がガードレールとなっており、B側道路の用水路側にもガードパイプがあり、お互いの見通しがよくありませんでした。

■ 事故から学ぶ

Aは一つ目の交差点では一時停止をしていますが、二つ目では左右の確認を行っていません。二つ目の交差点には、いずれの道路にも一時停止規制は設けられてはいませんが、連続する大きな交差点では、二つ目の交差点に入る手前でも必ず一旦停止させるなど、左右の安全を再度確認してから通過しましょう。

ガードレールや欄干などがある交差点では、交差する道路を走行する原付自動車のような小さな車両を見落としやすいものです。相手車両の行動や速度を勝手に判断するのは危険です。どのような状況になっても直ちに止まれるよう速度を十分に落として、交差点に進入しましょう。